

各地で集会、禅の

東海曹青

科学万博セミナーを計画

去年の八月に全国曹洞宗青年会十周年記念事業の一つとして行われた沖繩洋上セミナーは大勢の子が遠く青年会員の参加を得て好評のうちその幕を閉じました。

その沖繩洋上セミナーに参加した静岡、愛知第二、三曹洞宗青年会の会員から、洋上セミナー終了直後より参加者の親達から寄せられたいろいろな好評な声を聞き、今度は、東海曹洞宗青年会での洋上セミナーを、発展的に引き続いて受けつけて、こうというような話もあがりました。

沖繩洋上セミナー参加の会員を中心に、計画が進められました。沖繩洋上セミナーは、大阪発沖繩というコースだったのですが、東海曹洞宗で行うのだから名古屋発計画を進めようということになりいろいろ検討を重ねていくうちに

に

「今年は、科学万博が行なわれているのを踏まえてコースに加えてはどうか」という案がでてきてはどうか。万博をコースに加えて日数的に非常に多くなってしまっているという結果的には、今回は洋上をはずしてバスで行くということになりました。

船をはずすというのは、ちょっと残念な気分もいたしましたが、科学の進歩と心の問題は我々青年会にとっても今後、真剣に取り組んでいかなければいけない問題です。

子ども達だけでなく我々も、科学の粋を集めたといわれる「科学万博くば」を学び、大本山総持寺で坐し、禅による心のセミナーを行いたいと思っております。

八月二十六日・八月二十九日

北海道大会を開催

六月二十六日、二十七日にわたり北海道曹青（会長山田信義、北海道第一正光寺）大会が小樽電徳寺会場で開催された。

無着成生を招き講演会

大会は全国各地から約百名の参加を得て、開会式に続き講演会を開催した。講演会は、今、青年僧は何をすべきかと題して約二時間に及ぶ講演となった。講師の独特の話し術と豊富な話題に、青年僧のあり方を全員で考える絶好の機会

会となった。特に会道から結果することには容易でないだけに今回の講演に期待する会員も多く熱弁に時間の経過を忘れさせられた。

講演では、今青年僧のすべき事は勿論社会一般の現況から見た我々の姿、在り方及び今後を示唆される思いが込められた。

新役員を選出

引き続き四時から総会となったが、事業報告、会計決算の承認後、新役員の人事を行ない新会長には北海道第一曹青の押見正宏君を選出した。

北海道は地域も広く三宗所となっておりが、團結は堅く、今回第八回でありしかもそれぞれの単位曹青の活動以上に北海道としての活動のあることが特色である。昨年も北海道に於ける曹洞宗寺院の分布図を作成し、道内寺院から喜ばれている。

アジア・アフリカ難民に慈悲の手を

無着成生先生に激励された後の活動方針というところで、新役員も熱がこもり、今年度新活動として「難民救済活動」が提案された。

この救済活動は既に各方面で展開されているが、活動の中心に慈悲心を置き、「心のかよった援助」を訴え、仏教徒として僧侶として全道あげて取り組んでいくこととなった。

第五期回顧

昭和五十九年に入り、全曹青十周年特別事業に松倉委員長、南副委員長を中心として、一九となり、特に過去の体験を大いに生かした桜井師の配慮、即ち石仏儀に関しては、名を捨てて来る。主催先新聞社、後援文化庁とした点にあります。しかし、ここへ来るまでには大変な努力も有りましたが、皆の熱意によって成就されました。この様にして桜井師の過去十年間の全

して来ましたが、そして何言っても、その強靱な肉体、途中大戦に戦いながらも卓越した精神力をもって任期満了を迎えるに至った訳です。そのしんへの強さとして、行動力、そして人徳を具えた人物でありました。例を上げますと、全曹青をより理解し

合う様、山ノ手線、浜松町駅からのモノレルと、駅、ホームより、電車の中にも走って時間間に合わせ、飛行機に飛び乗り、二人顔を見合わせ、ホッと息、額を拭いた思い、その四国大会も盛大に結成され、会員の諸宗師より、本部に対する御厚情を戴き、勇気づ

てもらねばと全国を行脚、地方曹青大会でも出席したい、の思いにて、ある時、事務局会を終えて、玉林寺（新潟）慶弔会に出席し、小雲のバラック早朝大栄寺（新潟）にて、北陸曹青大会に出席。次の四国曹青結成大会に出席すべく、東京へトランプ帰、羽田発松山行きに間に

けられ、道後のお湯にて次の近畿曹青大会への活力を補充したこともありました。この様に各地に歩を進めた結果、お互いに理解が深められたと思えます。只残念なのは、北海道曹青に理解を求めんと計画したが、北海道に十年間特別事業を迎えなければならず、本意な時期を逸してしまつた事が悔を残すこととなりました。この点は第六期吉岡会長の力量によって成就されるものと確信するものです。



実践仕事のすべてをここに集結 曹洞宗実践叢書 全十巻

- この叢書はここが一番知りたい 日常必要な事柄をすべて集録しました
- この叢書は法式・禅学・経典・詩偈・仏具葬式辞典の実践仕事から布教まで

■造本・体裁
A5判・上製/特織布
特染金箔押/貼箱入
各巻平均400頁~500頁

■編集
曹洞宗実践叢書編纂委員会
《発行所》株式会社 大蔵舎
〒424 静岡県清水市横砂本町17番2号
TEL (0543) 64-7834(代)

散歩道

シンガーソングライター

南こうせつさん

『僕、お寺で自分を着けたいな』

貴方はもう忘れたかしら
赤い手拭 マフラーにして……(神田川)

この歌は曹青のほろびが思い出さずとも、ほとんどの皆さんが口ずさんだのではないだろうか。
歌ったのは「南こうせつさん」大分県曹青浄光寺で生れ育ちました。

「こうせつさん、いまはお寺を出られ
ているわけですが、きっかけは？」

ええ、三男だったこともありですが、
とにかくターにこつてね。フオオとの
和尚さん、似合わないなあってね。
それに、女の子にもなくてね、「あな
たのお家は？」、「うん、お寺」とう考
えてもな、って信じてね。(笑)

「現在は大分県にお住まいですが、故
郷にもどりたい、ということですか。」

いえ、前はね、富士山のそばに住ん
だんです。ところがね、そこ僕のフア
ンという人の船でたまたまゴルフをし
たんです。初めはね、こんな広い所もし
たいなあ、畑にしたらあれも植えてこれ
も植えて、と思ったんですよ、ところが

ゴルフをしたらこれが以外に面白いわ。
無理して会員権まで買ってね。

そのクラブは本当に日本のトップクラ
スの人があるんですよ。もう外車はつかり
でね。僕も外車を買ってね。最初は
ワーゲン。それにジパン。少しは有名
と思っただけがね。誰も話もしてく
れない。ええ、いって黒のキャブバック
にしたんですよ。そしてらんどを来る
のね。いい人も勿論いたけど、何だか嫌
になつてね。
あつたかい所がいいなあでね九州

「最近の生活はどうですか。」

白と黒ですね。(笑)僕は色、天然色
ね、これにあこがれてますね。それで、
脱出です。東京へ。
でもお寺はこれから変わるんじゃないか
な。聖人君子の和尚さんじゃなくていい
と思うんだ。心を開く場所だいいな。
ねえお寺にカラーを着けましょうよ。
ほくね、色をつけたいな。協力しますよ。
みんなで花まつりをしましょうよ、ブツ
ダの祭じやないですか。

「お寺のイメージと今後は？」

僕ね。この頃、東洋にあこがれるんで
すね。アメリカにしても、ヨーロッパに
しても成功し入つていのはね、ア
ールキの大きな家に住み、贅沢な暮らし
をするこなつてないか。そしてみん
なそれに向つていっているみたいね。ところが、
その過程でうのか、あまり問題にし
ないのね。何でもいい、何してでも成
功すればいい、って気がするのね。その
点、東洋って過程を大事にしてくれるん
じゃないかな。

「お寺のイメージと今後は？」

僕ね。この頃、東洋にあこがれるんで
すね。アメリカにしても、ヨーロッパに
しても成功し入つていのはね、ア
ールキの大きな家に住み、贅沢な暮らし
をするこなつてないか。そしてみん
なそれに向つていっているみたいね。ところが、
その過程でうのか、あまり問題にし
ないのね。何でもいい、何してでも成
功すればいい、って気がするのね。その
点、東洋って過程を大事にしてくれるん
じゃないかな。

援す 応じます

—青少年教化を志す人へ— 全国青少年教化協議会

〒二六一 東京都新宿区上落合二一九一 四
山武善合ビル5F
☎〇三(三六四)二六四一

なにかの折に子どもを集い催したい
と考えている人、すでに子ども会を開催
している人、青少年教化・家庭法など
を考えている人、このような人達に全青
協の活動を紹介いたします。

(設立)

財団法人・全国青少年教化協議会(略
称・全青協)は、昭和三十七年正月松本
邸氏(元読売新聞社社長)の提唱により全
発足。仏教精神によって青少年の健全
育成を願い、六五及び仏教僧侶が宗教
情操の涵養、仏教子ども会の推進等を目
的に設立した、社会教育事業団体です。

(事業内容)

①月刊誌「びつばら」の発行
宗教心のある子どもで、暮らして仏教を
どう生かすべきかを内容として毎月発
行。幼稚園・保育園・日曜学校・子ども
会への教材教材の提供。寺院からの施本
としても最適な仏教誌。びつばらとは、
菩提樹のことです。

②教材・単行本の発行。
釈尊の教えを基本にした本や、各種仏
教行事用のカードやパンフレットを、児
童向・成人向・指導者向けに分けて刊行し、
多くの利用をえている。

③「こころを育てる」少年指導ハンドブッ
ク I 5分間講話 II 5分間講話
III 華厳童話選 IV 子ども会運営
各種ことも集いが迷わずに開催
できる手引書です。

④「まじか新書」①仏教の児童観 ②子
どもと共に生きる ③今日の子を育て
④かしこい父・母になるために
⑤「こころの杖」とは「仏教の人間像」わ
たしたちのねがい(中学生に理解できる
仏教の人間像)

⑥「ほとけさ」おしえ(児童必携。仏教
の人間像)
「ポケットブック」(花まつり・成道会行
事にちなんでお話しと、式典プログラム
付。施本にも適している。カード風船
てさげ袋も用意)

⑦「教材通信」(左記教材の効果的活用方法を
指示。子ども会運営の各種アイデアを紹介)

⑧テレビ放映
日本テレビ、よみうりテレビの協力を
得て、毎月一回「宗教の時間」を制作
放映している。

⑨日校・子供会の推進と助成。研修会
地方青少年教化協議会(二十団体)を
組織し、その連係のもと、日曜学校、子
供会、その他の集いの推進、助成をなし、
また、毎年実技・理論を学ぶ研修会を開
催している。

⑩現代名僧展覧
⑪心の力を養う講座
⑫正力松太郎賞(青少年の育成・文化活
動を通じて、情操教育の振興に努力して
いる個人、団体を顕彰している)

⑬「問い合せ」を歓迎します。



南こうせつさん、昭和十四年生
話の合間にも「ああ、この人は寺育
ちだなあ」と何度も感じさせられま
した。袖田川以降の活躍は皆さんご
存じの通り。私たちの仲間として歡
迎します。
お寺で育ったこうせつさん、曹洞
宗青年会の活動にはよること協力
してもらえそうです。



総 会 資 料

昭和60年度事業計画

月	会 議	組 織	場 所	事 業 主 体	備 考
7	事務局 総合企画委員会 評議員会 総会事務局	8.委員会(団体加入の促進と出版準備)発行	8.委員会(青年通信)発行	8.委員会	9.前期の集い-中央研修会
6	総合企画委員会 事務局	九州地方委員会(編入)	九州地方委員会(編入)	九州地方委員会(編入)	集いの集いの資料の作成
7	事務局	団体加入の促進と出版準備	青年通信発行	青年通信発行	
8	事務局	団体加入の促進と出版準備	青年通信発行	青年通信発行	
9	事務局	団体加入の促進と出版準備	青年通信発行	青年通信発行	国際青年年に因った事業
10	事務局	東北地方委員会(編入)	東北地方委員会(編入)	東北地方委員会(編入)	
11	事務局 理事会	青年通信発行	青年通信発行	青年通信発行	集いの集いのための事業と研修
12	事務局	全国青年通信作成会議	全国青年通信作成会議	全国青年通信作成会議	
1	事務局 評議員会	青年通信発行	青年通信発行	青年通信発行	後期の集い-中央研修会
2	事務局	青年通信発行	青年通信発行	青年通信発行	(分數3会場にて)
3	事務局	青年通信発行	青年通信発行	青年通信発行	全国青年通信作成会議
4	事務局 理事会	青年通信発行	青年通信発行	青年通信発行	

昭和59年度決算書(歳入)

会 議	日 目	本年度決算	前年度決算	増 減	備 考
1. 会 費	1. 正 会 費	1,000,000	1,016,000	△16,000	
	2. 正 会 費 引 当 金	900,000	939,000	△39,000	333人
	3. 正 会 費 引 当 金 繰 上 げ	190,000	77,000	△113,000	
2. 寄 附 金	1. 経 理 研 究 会	1,300,000	822,925	△477,075	
	2. 博 文 学 校	250,000	0	△250,000	
	3. 博 文 学 校	900,000	561,925	△338,075	
3. 寄 附 金 引 当 金	1. 寄 附 金 引 当 金	4,000,000	7,996,533	△3,447,533	
	2. 寄 附 金 引 当 金 繰 上 げ	8,000,000	7,996,533	△3,447,533	
4. 会 費 引 当 金	1. 正 会 費 引 当 金	500,000	2,120,070	△1,620,070	組合員減
	2. 寄 附 金 引 当 金	500,000	2,120,070	△1,620,070	1,842,300
5. 雑 収 入	1. 雑 収 入	30,000	100,872	△70,872	2の増
	2. 雑 収 入	30,000	100,872	△70,872	1,842,300
6. 雑 収 入	1. 雑 収 入	179,397	179,397	0	1,842,300
	2. 雑 収 入	179,397	179,397	0	1,842,300
合 計		11,009,397	12,235,817	△1,226,420	

昭和59年度決算書(歳出)

会 議	日 目	本年度決算	前年度決算	増 減	備 考
1. 会 費	1. 正 会 費	1,500,000	2,332,896	△832,896	
	2. 正 会 費	300,000	300,000	0	
	3. 正 会 費	700,000	1,332,896	△632,896	
2. 寄 附 金	1. 寄 附 金	500,000	994,243	△494,243	
	2. 寄 附 金	1,190,000	1,642,126	△452,126	
	3. 寄 附 金	900,000	1,045,489	△145,489	
	4. 寄 附 金	150,000	150,000	0	
	5. 寄 附 金	290,000	135,460	△154,540	
	6. 寄 附 金	30,000	183,000	△153,000	
	7. 寄 附 金	100,000	8,870	△91,130	
	8. 寄 附 金	50,000	17,140	△32,860	
3. 寄 附 金 引 当 金	1. 寄 附 金 引 当 金	2,340,000	1,985,000	△355,000	
	2. 寄 附 金 引 当 金	240,000	320,000	△80,000	
	3. 寄 附 金 引 当 金	1,200,000	1,200,000	0	
	4. 寄 附 金 引 当 金	200,000	0	△200,000	
	5. 寄 附 金 引 当 金	500,000	355,000	△145,000	
4. 雑 収 入	1. 雑 収 入	1,700,000	1,400,303	△299,707	
	2. 雑 収 入	600,000	600,000	0	
	3. 雑 収 入	300,000	300,000	0	
	4. 雑 収 入	800,000	900,000	△100,000	
5. 雑 収 入	1. 雑 収 入	970,000	969,740	△260	
	2. 雑 収 入	179,397	156,280	△23,117	
	3. 雑 収 入	400,000	355,000	△45,000	
	4. 雑 収 入	50,000	50,000	0	
6. 雑 収 入	1. 雑 収 入	2,000,000	3,022,364	△1,022,364	
	2. 雑 収 入	250,000	300,420	△50,420	
	3. 雑 収 入	1,000,000	2,354,664	△1,354,664	
	4. 雑 収 入	550,000	376,180	△173,820	
	5. 雑 収 入	150,000	40,000	△110,000	
	6. 雑 収 入	50,000	31,100	△18,900	
7. 雑 収 入	1. 雑 収 入	309,397	244,140	△65,257	
	2. 雑 収 入	309,397	244,140	△65,257	
8. 雑 収 入	1. 雑 収 入	0	549,226	△549,226	
	2. 雑 収 入	0	549,226	△549,226	
合 計		11,009,397	12,235,817	△1,226,420	

昭和59年度事業報告

月 日	会 議	事 業	そ の 他
10	本 部 事 務 局 会 議	前 期 報 告 の つ い	10 普 青 通 信 33 号
10	第 1 回 理 事 会	中 央 研 修 会 (東 京)	12 平 山 都 夫 先 生 葬 儀 執 行
11	第 1 回 評 議 員 会	全 青 青 の 日 会	14 会 議 報 告 の つ い
22	第 2 回 理 事 会	特 殊 事 業 委 員 会	25 普 青 通 信 34 号
29	第 3 回 理 事 会	特 殊 事 業 委 員 会	30 打 合 せ (名 古 屋)
30	第 4 回 理 事 会	特 殊 事 業 委 員 会	
7-8	広 報 委 員 会	静 岡 青 育 地 方 委 員 会	7 普 青 通 信 ボ ラン テ ァ 会 正 式 発 行 式
19	第 5 回 理 事 会	北 国 地 区 青 育 委 員 会	9 北 国 地 区 青 育 委 員 会 第 1 回 理 事 会 (新 潟)
19	第 6 回 理 事 会	北 国 地 区 青 育 委 員 会	17 北 国 地 区 青 育 委 員 会 第 2 回 理 事 会 (新 潟)
20	第 7 回 理 事 会	北 国 地 区 青 育 委 員 会	15-16 九 州 地 区 普 青 大 会
2-3	特 殊 事 業 委 員 会		26 瀬 戸 内 - 大 塚 研 修 会
7	第 8 回 理 事 会		
2-3	第 9 回 理 事 会	横 子 洋 上 セ ミ ナ ー (沖 縄)	1 普 青 通 信 34 号 打 合 せ (名 古 屋)
8	第 10 回 理 事 会		6 普 青 通 信 35 号 打 合 せ (名 古 屋)
13-14	第 11 回 理 事 会		6 普 青 通 信 36 号 打 合 せ (名 古 屋)
19	第 12 回 理 事 会		6 普 青 通 信 37 号 打 合 せ (名 古 屋)
27	第 13 回 理 事 会		6 普 青 通 信 38 号 打 合 せ (名 古 屋)
11	第 14 回 理 事 会		6 普 青 通 信 39 号 打 合 せ (名 古 屋)
12	第 15 回 理 事 会		6 普 青 通 信 40 号 打 合 せ (名 古 屋)
1	第 16 回 理 事 会		6 普 青 通 信 41 号 打 合 せ (名 古 屋)
4	第 17 回 理 事 会		6 普 青 通 信 42 号 打 合 せ (名 古 屋)
5	第 18 回 理 事 会		6 普 青 通 信 43 号 打 合 せ (名 古 屋)
7	第 19 回 理 事 会		6 普 青 通 信 44 号 打 合 せ (名 古 屋)
8	第 20 回 理 事 会		6 普 青 通 信 45 号 打 合 せ (名 古 屋)
8	第 21 回 理 事 会		6 普 青 通 信 46 号 打 合 せ (名 古 屋)
8	第 22 回 理 事 会		6 普 青 通 信 47 号 打 合 せ (名 古 屋)
8	第 23 回 理 事 会		6 普 青 通 信 48 号 打 合 せ (名 古 屋)
8	第 24 回 理 事 会		6 普 青 通 信 49 号 打 合 せ (名 古 屋)
8	第 25 回 理 事 会		6 普 青 通 信 50 号 打 合 せ (名 古 屋)

昭和60年度歳入歳出予算書

自 昭 和 60 年 4 月 1 日
至 昭 和 61 年 3 月 31 日 止

歳 入	12,000,000円
歳 出	12,000,000円
差 引	0円

【歳入内訳】

科 目	内 容	予 算	前 年 度 予 算	増 減	内 訳
1. 会 費	1. 正 会 費	1,000,000	1,000,000	0	
	2. 正 会 費 引 当 金	900,000	900,000	0	20,000×40回増減
	3. 正 会 費 引 当 金 繰 上 げ	20,000	1,000×20名		
2. 寄 附 金	1. 寄 附 金	1,300,000	△400,000		賛助者、特別会員
	2. 寄 附 金 引 当 金	600,000	0		前期、後期の集い-中央研修会
3. 寄 附 金 引 当 金 繰 上 げ		300,000	0		
4. 雑 収 入	1. 雑 収 入	9,000,000	8,000,000	1,000,000	印刷費より
	2. 雑 収 入	500,000	500,000	0	
5. 雑 収 入	1. 雑 収 入	100,000	0		青年通信広告
	2. 雑 収 入	400,000	0		組合員より
6. 雑 収 入	1. 雑 収 入	50,714	50,000	△714	組合員より
	2. 雑 収 入	549,226	179,397	369,829	59年度より
歳 入 合 計		12,000,000	11,009,397	990,603	

【歳出内訳】

科 目	内 容	予 算	前 年 度 予 算	増 減	内 訳
1. 会 費	1. 正 会 費	1,500,000	1,500,000	0	
	2. 正 会 費	300,000	300,000	0	1回増減
	3. 正 会 費	700,000	700,000	0	2回増減
2. 寄 附 金	1. 寄 附 金	500,000	500,000	0	増減なし
	2. 寄 附 金	1,642,364	1,642,364	0	増減なし
	3. 寄 附 金	900,000	900,000	0	増減なし
	4. 寄 附 金	240,000	150,000	90,000	増減なし
	5. 寄 附 金	150,000	150,000	0	増減なし
	6. 寄 附 金	30,000	183,000	△153,000	増減なし
	7. 寄 附 金	50,000	50,000	0	増減なし
3. 寄 附 金 引 当 金	1. 寄 附 金 引 当 金	2,340,000	1,985,000	△355,000	増減なし
	2. 寄 附 金 引 当 金	240,000	320,000	△80,000	増減なし
	3. 寄 附 金 引 当 金	1,200,000	1,200,000	0	増減なし
	4. 寄 附 金 引 当 金	200,000	0	200,000	増減なし
	5. 寄 附 金 引 当 金	500,000	355,000	△145,000	増減なし
4. 雑 収 入	1. 雑 収 入	1,700,000	1,400,303	△299,707	増減なし
	2. 雑 収 入	600,000	600,000	0	増減なし
	3. 雑 収 入	300,000	300,000	0	増減なし
	4. 雑 収 入	800,000	900,000	△100,000	増減なし
5. 雑 収 入	1. 雑 収 入	970,000	969,740	△260	増減なし
	2. 雑 収 入	179,397	156,280	△23,117	増減なし
	3. 雑 収 入	400,000	355,000	△45,000	増減なし
	4. 雑 収 入	50,000	50,000	0	増減なし
6. 雑 収 入	1. 雑 収 入	2,000,000	3,022,364	△1,022,364	増減なし
	2. 雑 収 入	250,000	300,420	△50,420	増減なし
	3. 雑 収 入	1,000,000	2,354,664	△1,354,664	増減なし
	4. 雑 収 入	550,000	376,180	△173,820	増減なし
	5. 雑 収 入	150,000	40,000	△110,000	増減なし
	6. 雑 収 入	50,000	31,100	△18,900	増減なし
7. 雑 収 入	1. 雑 収 入	309,397	244,140	△65,257	増減なし
	2. 雑 収 入	309,397	244,140	△65,257	増減なし
8. 雑 収 入	1. 雑 収 入	0	549,226	△549,226	増減なし
	2. 雑 収 入	0	549,226	△549,226	増減なし
合 計		12,000,000	11,009,397	990,603	

全国普青青年会結成十周年記念事業決算報告

(洋上セミナー)

項 目	決 算 額	備 考
1. 参 加 者 会 費	10,961,500	205名
2. 寄 附 金	500,000	
合 計	11,461,500	
項 目	全 額	備 考
1. 重 要 観 光 支 払 い	10,376,360	
2. 記 念 写 真 代	123,000	
3. 謝 辞 謝 礼	△350,000	
4. 参 考 費	79,210	
5. 丁 シ ャ ツ 代	203,200	
6. 講 師 旅 費	70,000	
7. 運 送 費	220,000	スタッフ謝礼、アシスタント謝礼等
8. 雑 費	35,000	写真代等
合 計	11,456,770	
収 入 合 計	11,461,500円	
支 出 合 計	11,456,770円	